

1-4 北海道地方とその周辺の最近の地震活動（1996年5月～1996年10月）

Recent Seismic Activity in and around the Hokkaido District (May-October, 1996)

札幌管区気象台

Sapporo District Meteorological Observatory, JMA

1996年5月～7月、1996年8月～10月の各3ヶ月間の震央分布図を第1図(a)と(b)に示す。これらの期間北海道とその周辺の地震活動は比較的静穏であった。「平成6年（1994年）北海道東方沖地震」の余震域では、5月8日にM6.0（深さ41km）の余震が発生した。M6以上の余震は1996年3月10日のM6.2以来であり、北海道周辺における期間中の最大規模の地震である（本巻別項参照）。

「平成5年（1993年）北海道南西沖」の余震域では、7月下旬から8月上旬にかけて奥尻島を震源とする余震がややまとまって発生し、有感地震が4回あった。その他北海道の南西部では渡島半島東岸の南茅部付近で6月に規模の小さな地震がややまとまって発生し、19日にはM3.4の有感地震があった。この付近では1993年12月に震度1程度の局地有感地震が2回発生している。1995年10月から始まった松前沖の地震活動は、1996年4月に入って地震の規模、発生回数ともに減少し、10月からは更に活動が低下している。（これらの地震活動は本巻別項参照）。

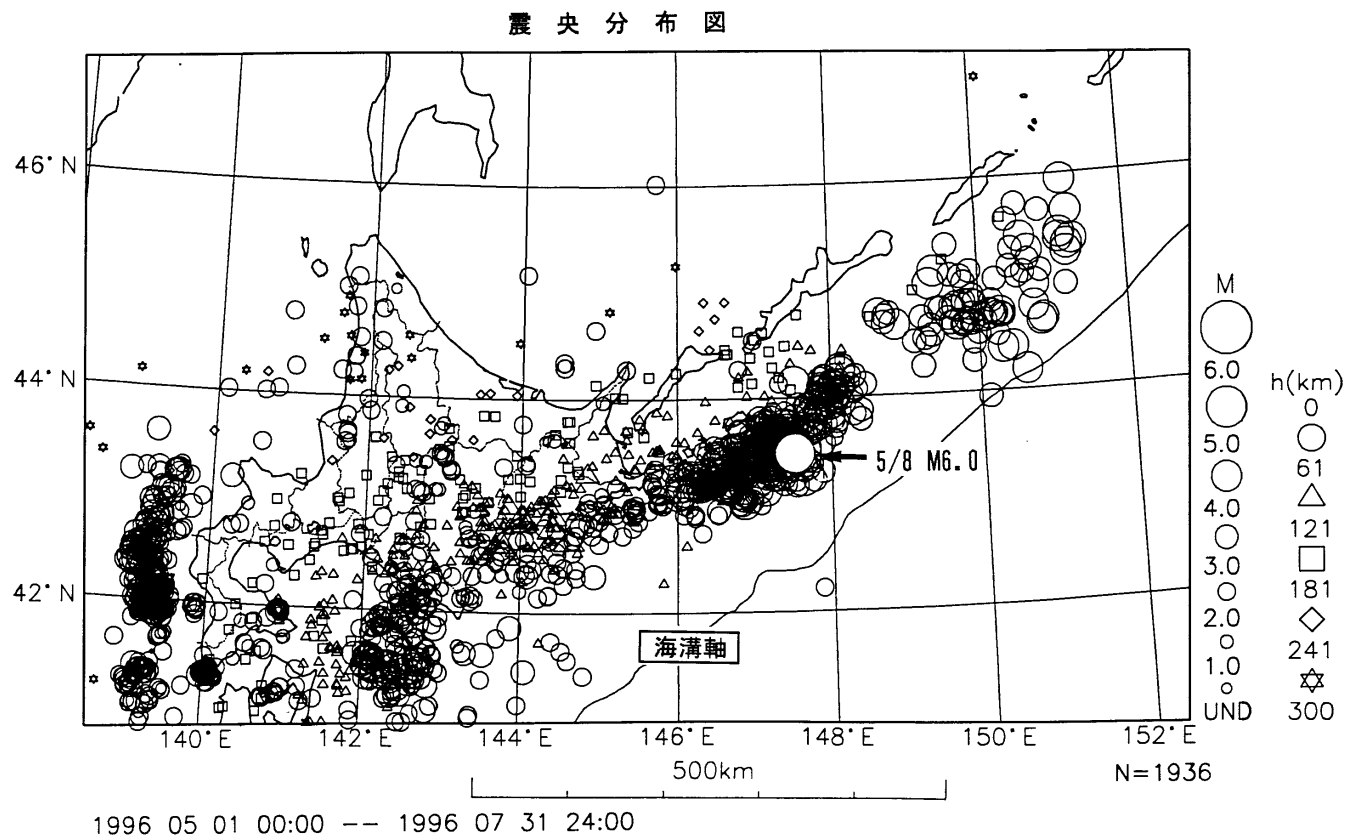
1995年11月25日から始まり、12月4日に最大規模の地震（M7.2）が発生した千島列島（択捉島付近）の地震活動は、10月2日に活動域の北東端でM5.8の地震が発生したが、発生回数は順調に減少している。

10月に浦河沖を震源とする有感地震が5回発生した。地震はいずれも比較的規模の小さなもので最大規模の地震はM4.2である。浦河沖周辺は地震活動が活発な地域で過去にM7クラスの地震が繰り返し発生しているが、最近はM5以上の地震が1995年1月以来、M6以上は1991年11月以来発生していない。（本巻別項参照）。

内陸の浅発地震は、十勝支庁北部で、1996年6月頃から規模のごく小さな地震が散発的に発生している。この付近では1989年と1995年に推定最大震度3程度の局地有感地震を含む群発地震活動があった（本巻別項参照）。

北海道地方とその周辺の地震活動（1996年5月～7月 $h \leq 300 \text{ km}$ ）

札幌管区気象台



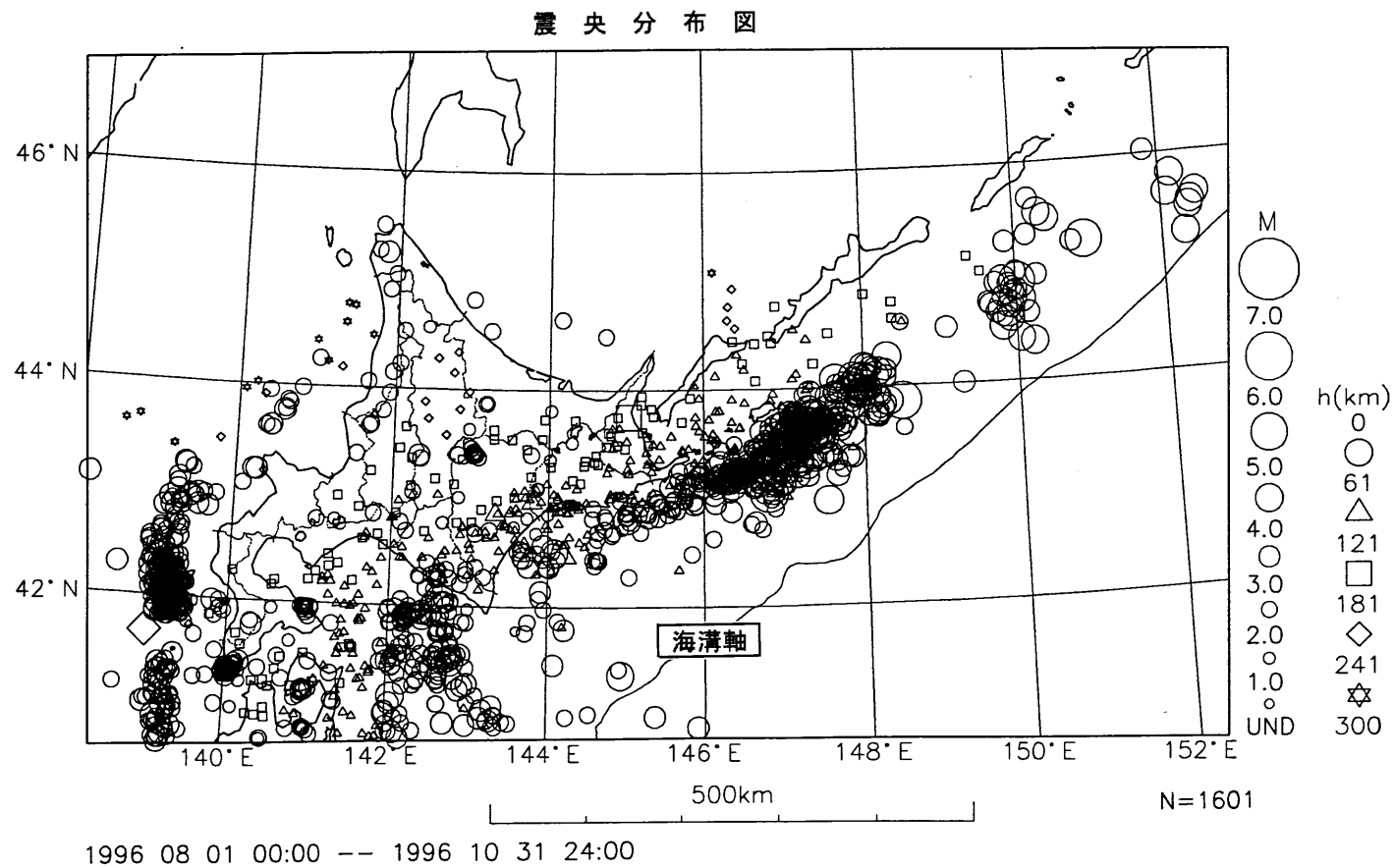
第1図 北海道周辺の地震の震央分布: (a) 1996年5月～7月 ($h \leq 300 \text{ km}$)

Fig. 1 Epicentral distribution of earthquakes in and around the Hokkaido

District: (a) May - July, 1996($h \leq 300 \text{ km}$).

北海道地方とその周辺の地震活動 (1996年8月~10月 $h \leq 300 \text{ km}$)

札幌管区气象台



第1図 つづき (b) 1996年8月~10月 ($h \leq 300 \text{ km}$)

Fig. 1 (Continued) (b) August - October, 1996 ($h \leq 300 \text{ km}$) .